

5月

令和7年東京中央卸売市場青果物市況見通し

令和7年4月26日(土)作成

JA全農さいたま園芸販売課 大田市場駐在

品目	本年入荷見込み		本年予想価格		前年出回り主力産地			摘	要
	前年入荷比 (前年入荷)	平年入荷比 平年入荷	本年見通し価格 (前年価格)	平年価格比 平年価格					
だいこん	100%	93%	120円	113%	千葉	茨城		千葉産主力の出回りとなろう。千葉産は、作付面積は前年並み。播種期にあたる2月に降水量が少なかったことから生育が遅れていたが、3月以降は気温も上がり降水量も充分であったため、概ね平年並みの生育に回復している。目立った病害虫の発生も見られない。出荷量は平年並みの見込み。総入荷量は前年比100%で前年並みだが平年をやや下回り、価格は120円/kgと前年を下回るが平年を上回る見込み。	
	(7,289トン)	7,802トン	(138円)	106円					78.6%
にんじん	113%	103%	250円	157%	徳島	千葉		前半は徳島産、後半は千葉産が主力の出回りとなろう。徳島産は、生育順調で5月の出荷計画は前年を約1割上回る見込み。等級はML中心。5月中旬以降出荷ピークを過ぎ、減少となる見通し。千葉産は、一部産地で都市化により面積が減少している。1月の乾燥により発芽不良が散見された。3月の低温・曇雨天により1週間程度生育が遅れているが肥大は平年並みで出荷量は平年をやや下回る見込み。総入荷量は前年比113%で前年を上回り平年をやや上回り、価格は250円/kgと前年・平年を上回る見込み。	
	(6,822トン)	7,495トン	(219円)	159円					55.4%
キャベツ	103%	90%	110円	103%	千葉	愛知	神奈川	千葉・愛知・神奈川産中心の出回りとなろう。千葉産は、温暖な日が続いたことから生育は前進化しており収穫時期も平年より早くなる見込み。愛知産は、気温高が続き生育は順調。出荷量は前年並みの見込み。神奈川産は、3月の低温の影響で生育は遅れているが、4月下旬から出荷ピークとなり、5月中旬以降は減少となる見込み。総入荷量は前年比103%で前年をやや上回るが平年を下回り、価格は110円/kgと前年を大きく下回るが平年をやや上回る見込み。	
	(14,621トン)	16,803トン	(170円)	107円					43.5%
ほうれん草	102%	98%	480円	108%	群馬	茨城		茨城・群馬産中心の出回りとなろう。群馬産は、天候に恵まれ生育は概ね順調。一部でハウレンソウケナゴナダニの発生が見られる。出荷量は前年並みの見込み。茨城産は、温暖な気候が続き適度な降雨もあり生育は順調でやや前進化している。出荷量は前年・平年並みの見通し。総入荷量は前年比102%で前年をやや上回るが平年をやや下回り、価格は480円/kgと前年をやや下回るが平年を上回る見込み。	
	(1,425トン)	1,481トン	(504円)	443円					45.8%
ねぎ	98%	98%	420円	101%	茨城	千葉		茨城産主力に千葉産の加わる出回りとなろう。茨城産は、作柄は平年並みで推移しており肥大良好、夏ねぎも始まっており、出荷量は増量の見込み。千葉産は、気温が高く定期的な降雨もあり生育は概ね順調。肥大が進み太物中心の出荷となる見込み。総入荷量は前年比98%と前年・平年をやや下回り、価格は420円/kgと前年・平年をやや上回る見込み。	
	(3,645トン)	3,654トン	(415円)	414円					56.3%
ブロッコリー	130%	94%	420円	102%	香川	埼玉	熊本	香川・埼玉・熊本産中心の出回りとなろう。香川産は、端境を抜け春作が出荷ピークとなる見込み。5月中旬以降は終盤となり出荷量は減少となる予想。埼玉産は、4月下旬から春作の出荷ピークとなり順調な出荷が続く見通し。5月上旬以降は気温上昇し出荷終盤となる予想。熊本産は、4月下旬からの気温上昇もあり生育順調で5月上旬まで出荷量は横這いから微増で推移。その後は気温上昇による品質劣化が懸念される。総入荷量は前年比130%と不作で少なかった前年を大きく上回るが平年をやや下回り、価格は420円/kgと不作で相場高だった前年を大きく下回るが平年をやや上回る見込み。	
	(2,167トン)	3,007トン	(596円)	410円					16.2%
きゅうり	100%	95%	270円	103%	埼玉	群馬	宮崎	埼玉・群馬産中心に宮崎産の加わる出回りとなろう。関東産は、3月末から4月上旬の低温の影響で遅れていた生育は気温上昇に伴い回復し概ね順調となっている。4月末以降出荷ピークを迎える予想。出荷量は前年並みの見込み。宮崎産は、一時的な低温と乾燥により好天の割には増量が鈍い状況。今後は気温上昇とともに増加傾向となる。つる下げ作型は樹勢が弱いことが懸念されている。出荷量は前年・平年並みの見込み。総入荷量は前年比100%で前年並みだが平年をやや下回り、価格は270円/kgと前年を下回るが平年をやや上回る見込み。	
	(7,411トン)	7,777トン	(307円)	262円					26.5%
トマト	105%	87%	350円	112%	熊本	栃木	愛知	熊本・栃木産中心に愛知産の加わる出回りとなろう。熊本産は、生育は着果・玉肥大共に良好。気温の上昇や玉サイズも現状のS・M中心から大玉にシフトしてくる見通しの為、4月下旬以降から出荷量は増加傾向で推移する予想。栃木産は、越冬作型は成り疲れによりM中心、促成作型は肥大も良好でL中心となっている。コナジラミ類や黄化葉巻病の発生が散見される。出荷量は少なかった前年並みの見込み。総入荷量は前年比105%で前年をやや上回るが平年を下回り、価格は350円/kgと前年を下回るが平年を上回る見込み。	
	(6,815トン)	8,227トン	(388円)	312円					26.4%